

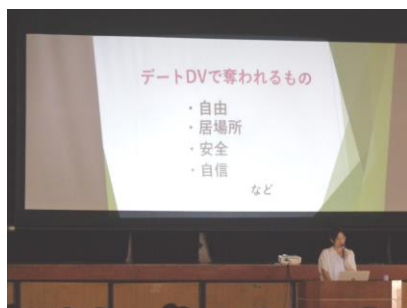
いじめ問題学年サミットを実施しました

このサミットは互いの人権を尊重し、いじめを「しない」「させない」「許さない」意識を高めるためのものです。今年は講師として助産師の黒岩さんに講演をしていただき、「デートDV」について考えました。デートDVとは、カップル間に起こる暴力のことであり、3組に1組のカップルが①体への暴力②心への暴力③経済的な暴力④性的な暴力のどれかの被害に遭っています。講演の後、学級ごとに輪になって、講師の方からの課題(テーマ)について話し合いました。

テーマ 「カップルでキスしている動画をTikTokにアップした。」

Q1 2人はなぜこのような動画をアップしたのだろうか？

Q2 今後、どのようなことが予想されるだろうか？



出てきた意見としては、次のようなものがありました。

■なぜ動画をアップするのか？

- ➔ 周囲に見せつけたいから、自己満足のため、自慢したいから

■動画をアップした後、どのようなことがおこるだろうか？

- ➔ 個人情報が出し、個人が特定される、別れた後に気まずくなる、後悔する

今回の講演での話は初めて聞く内容も多かったかもしれませんが、それぞれがよく考えて意見を出すことができました。学級ごとの話し合いでは、たくさんの意見が出され、学級委員が意見をまとめて発表しました。その後、学年で意見交流した内容について教室でそれぞれが振り返り、人間関係を築くために大切なことを見直しました。

《生徒感想》

- ・「デートDVについてはあまり詳しく知らなかったが、このような機会ですぐに詳しく知ることができてよかった」
- ・「後先考えずに行動してしまうと思わぬ結果を招くこともあるので、一度立ち止まって考える必要があると思った」
- ・「相手のことを考え、『気づく』ことが大切だと思った」

デートDVもいじめと同様に、相手がされて嫌だと思った時点でその行為はダメだということです。今回このテーマについて考えたことを、将来の自分が加害者にも被害者にもならないようにするためにしっかり覚えておきましょう。